

質問に対する対応手順

質問を認める場合には次の手順に従う。

- 1 正審は「タイム」とコールする。副審はサインとともに「タイム」とコールする。
- 2 相手方コートへの移動や現場に選手・監督を近づけない。(副審は特に注意しておく)
- 3 質問が選手・監督のいずれか1人で、規則に従っている場合は、主張をよく聞き正しく理解するように努める。
- 4 質問にひとつひとつ応答しない。
- 5 黙ってよく聞いた後に、ベンチで待機するよう指示をする。
- 6 正審は副審を審判台の所へ呼び協議する。
- 7 痕跡等を確認の必要がある場合には、副審に依頼する。副審は確認した資料を正審に報告する。(副審がその場で判定のサインをしない。)
- 8 副審がよくわからない場合には、正審が審判台から降りて確認して良い。
- 9 公正な判断を下し、すみやかに再判定の結果を両者に通知する。
- 10 再判定に不満の意を表しプレーを再開しない場合には、正審は警告（イエローカード）を与え、「ノータイム」とコールしてポイントカウンターのコールを行いプレーを再開させる。
- 11 指示に従わない場合には、2回目の警告（イエローカード）を与える。
- 12 質問があつて、明らかに判定の誤りと認める場合は判定を訂正する。
この場合、アンパイヤーの判定またはコールによって、プレーに支障が生じた場合、若しくはいかにしても判断がつきにくい場合は、ノーカウント（サービスについてはレット）にする。(正審のノーカウント（レット）のコールと同時に副審もサインとともにコールする。)
判定の訂正をする場合には、必ずもう一方の選手・監督から異議が出るので、それを説得し納得させるだけの心構えが必要である。

質問を認めない場合には次の手順に従う。

- 1 「明らかに〇〇です。プレーを再開してください。」といい、ポイントカウントをコールする。
- 2 指示に従わない場合には、警告（イエローカード）を与える。
- 3 プレーを再開しなければ、「判定は変わりません。再開しないので2回目の警告（イエローカード）を取ります。」と言ってイエローカードを提示する。
- 4 それでもプレーを再開しなければタイムを取り、コート主任（補助員）等にレフェリーおよび競技責任者と連絡を取るよう依頼する。
- 5 正審はレフェリーおよび競技責任者と協議の上、選手（団体戦ではチーム）を失格（レッドカード）とし、相手方の勝ちを宣告する。

質問に対する対応手順フローチャート

